

(様式2)

平成29年度全国・東京都・荒川区学力調査に関する結果分析シート

学校名 荒川区立第五峡田小学校

調査名	分析	実施結果（正答率）	
		区	自校
区 学 力 調 査 全 学 年	<p>■6学年18教科のうち、区の平均を上回ったのは、2学年2教科であった（昨年度は1学年3教科）。</p> <p>■前年度との比較（2～6年）では、区の平均との差が縮まったのは1学年1教科、昨年度と同等だったのが5学年8教科、昨年度と差が開いたのが4学年5教科であった。</p> <p>○区学力調査の結果を受け、実態に応じた目標設定を行い授業改善を進める。 例えば、実態として「目標値」をクリアできていない場合に、「全国平均」を目標とするのは負荷が強くなり、意欲の減退にもつながるので、まずは「目標値」に到達するための工夫に焦点化して授業を進める。</p> <p><u>※復習の徹底（全体指導・ペアワーク等）→発表の機会設定→認めあい・学力向上</u></p> <p>○一単位時間の授業の基本的な流れを全校で確認し、荒川区の強み（学校図書館、ICT等）を生かした授業展開を実施する。またそのための主幹教諭等による師範授業を実施する。</p> <p><u>※学習・情報センター化の活性・電子黒板の常時活用</u></p> <p>○学力を【基礎】と【活用】と大別した場合、バランスよく育むことが原則となるが、本校の実態としては【基礎】の弱さが【活用】にも影響している。 まずは【基礎】に焦点をあてながら、集中させてしっかり教えることを重点として行っていく。</p> <p>【活用】については、学習の流れを「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」ととらえ、「つなげて考えさせる」ということを重視した授業展開を心がける。</p> <p><u>※主に中・高学年の授業を変える</u> <u>「めあて学習の徹底」「課題の設定」</u></p>	1年 国 80.2 算 82.0	1年 国 77.5 算 82.1
		2年 国 85.5 算 84.8	2年 国 76.9 算 84.0
		3年 国 80.6 算 78.0	3年 国 72.7 算 68.4
		4年 国 72.2 社 76.3 算 79.7 理 65.7	4年 国 62.3 社 65.3 算 69.6 理 59.2
		5年 国 75.4 社 70.4 算 71.6 理 61.9	5年 国 70.4 社 64.0 算 68.2 理 57.4
		6年 国 74.6 社 67.8 算 66.4 理 64.6	6年 国 74.5 社 66.8 算 63.8 理 67.4

都 学 力 調 査 小 5	<p>■各教科とも、資料（文章や図表等）から必要な情報を正確に取り出す力について大きな課題が見られた。 各教科において、複数の情報を比較・関連付けて統合して考えさせるような発問を意図的に行う場面を増やす必要がある。</p> <p>■今年度は特に「理科」に大きな差が見られた。 観察・実験を<u>安全に行う習慣を徹底させ</u>、繰り返し行うことができる時間的な確保を生み出したい。</p> <p><u>※十分に考察させる時間・機会の設定</u> <u>失敗しない実験方法の工夫・実践（予備実験）</u> <u>失敗したら師範実験・再度実験等臨機応変に</u></p>	都	自 校
		5年 国語 67.8	5年 国語 62.4 対都=92%
		社会 71.1	社会 64.0 対都=90%
		算数 61.4	算数 53.7 対都=87%
		理科 71.6	理科 61.0 対都=85%
全 国 学 力 調 査 小 6	<p>■いずれも全国平均を下回っている。 （同一集団ではないが、昨年度と比較して全国平均との差は小さくなっている）</p> <p>■無回答率は、算数B問題を除くと、同一集団ではないが昨年度と比較するとずいぶん低くなってきている。<u>※30年度無回答増</u></p> <p>■国語では、具体的な叙述に基づき、理由を明確にして自分の考えをまとめることに大きな課題が見られた。 <u>※自分の考えをもつ指導・習慣づくり</u> <u>自分の考えを安心して発表できる集団づくり</u> 「読むこと」の指導との関連を図り、根拠として本や文章などから必要な語句・文等を引用したり要約したりする学習を充実させていく。<u>※「調べる学習」との関連指導</u></p> <p>■算数では、数量関係の領域において、記述式の数学的な考え方を求められる問題において、大きな課題が見られた。 場面を□などを使って式に表わす等指導の充実を図る中で、解決までの思考の段階を設定し、想定されるつまずきに応じた補助的な発問や支援を行っていく。</p> <p><u>※eラーニング・スマートスタディ・DNP教材(モデル校)等の活用</u> <u>による「自信と実力」の保障</u></p>	全 国	自 校
		6年 国語A 74.8	6年 国語A 74.0 対全国=98%
		国語B 57.5	国語B 53.0 対全国=92%
		算数A 78.6	算数A 75.0 対全国=95%
		算数B 45.9	算数B 43.0 対全国=94%

